

再生医療とリハビリテーション講演&チェロ四重奏コンサートのお知らせ

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

さて、標記について、下記のとおり、講演とコンサートのコラボのイベントを企画いたしました。感染予防対策を万全にして計画しておりますので、是非、ご参加ください。

記

1. **日時**：2022年9月18日（日）13:00～17:00
2. **主催**：Cello4 コンサート実行委員会&臨床再生医療リハビリテーション研究会・CIセラピー研究会
3. **開催名と開催時間**
 - 1部：13:00～14:30 「中枢神経疾患に対する再生医療とリハビリテーション」
 - 2部：14:40～15:30 「世界一のチェロアンサンブル in 福岡」
 - 3部：15:40～17:00 再生医療リハビリの実際デモンストレーション
4. **場所**

令和健康科学大学 2号館 1階メインホール 福岡市東区和白丘2丁目1番12号
5. **参加費**

1部・2部・3部あわせて **4,000円**、学生1,000円（1つの部のみの参加の場合も4,000円になります）
6. **内容**

【1部】 13:00～14:30
間葉系幹細胞投与後の集中リハビリテーションを実践し、通常のリハビリテーションとは異なる回復幅を経験した田邊浩文が科学的な解説を加えながら体験談をお話します。また、再生医療と先制医療普及後の将来のリハビリテーション像についてもお話します。
講師：田邊浩文 博士（保健学）湘南医療大学大学院 保健医療学研究科教授 副研究科長
臨床再生医療リハビリテーション研究会代表 アヴェニューセルクリニック共同研究員

【2部】 14:40～15:30
チェロ四重奏コンサート
キャスト：林峰男（バオグラード国際チェロコンクール1位）、宮地晴彦、玉川克、三森未来子
演目内容：パツフェルベル：カノン、シューマン：トロイメライ、ドビュッシー：月の光
バッハ：無伴奏ヴァイオリンパルティータ 第2番より『シャコンヌ』
ブラームス：ハンガリー舞曲 第5番 他

【2部】 15:40～17:00
再生医療リハビリテーションの実際・デモンストレーションと実習
7. **申込先/お問い合わせ**

rigaku111@yahoo.co.jp 宛へ、タイトル：「再生リハとチェロ福岡」、本文に「氏名」「連絡先メールアドレス」、をご記入いただき送信下さい。折り返し、振込先をメールにてお伝えします。※1部または2部のみのご参加希望の場合はその旨ご記入ください。
8. **管理** 受付時の検温、換気、距離を確保しての配席、会話の禁止を徹底します。講演内容に対する質問は事前配布の質問用紙に記入してスタッフにお渡しください。後ほど田邊がまとめて回答します。

1 部：中枢神経疾患に対する再生医療とリハビリテーション講演



講師：田邊浩文

博士（保健学）湘南医療大学大学院 保健医療学研究科教授 副研究科長
臨床再生医療リハビリテーション研究会代表 アヴェニューセルクリニック研究員

2012年大野典也博士（自家細胞免疫療法トッランナー）とともに脳性麻痺の再生医療リハビリテーションを試みる。2012年から重度片麻痺の機能回復アプローチ「タナベセラピー」を開発。2021年から間葉系幹細胞投与後の再生医療リハビリテーションを行う。

タイトル：再生医療とリハビリテーション

サブタイトル：再生医療の概要と脳血管疾患に対する間葉系幹細胞の臨床効果
そして未来のリハビリテーションについて

さまざまな「組織幹細胞」の性質が研究される過程で、私達の身体の中には、受精卵のなかのES細胞と同様にさまざまな種類の細胞に分化する能力が高い「間葉系幹細胞」と呼ばれる幹細胞があることが分かってきました。間葉系幹細胞は細胞分裂して増殖する能力が高く、神経や筋、脂肪、骨などに分化する、「多分化能」を持っています。田邊は、実際に間葉系幹細胞投与後に麻痺肢の運動を誘発し多用させるリハビリテーションを行い、新たな随意運動が出現、異常筋緊張が改善するなど、通常のリハビリテーションではありえない体験をしました。再生医療専門医は、脳の細胞治療については、神経再生と再プログラミングに関してリハビリが必要であるが、何をすればよいのか明らかになっていません。数人ではありますが、成果を出し、効果を引き出す介入条件の仮説を立てている田邊は、再生医療プロジェクトの会議にも招待されています。脳の再生医療では、運動の再学習が必要であり、今までのリハビリテーションとは別の介入が、理学療法士・作業療法士、それぞれ必要になってくるように思います。1部では動画をお見せし、科学的な解説を加え体験談をお話いたします。3部は、片麻痺当事者に対して実際どのような介入をしないと効果が表れないのか、デモンストレーションを行います。AIの研究者マイケル・オズボーン氏が発表した「雇用の未来（The Future of Employment）」では、AIの発展後にも必要な職業に、理学療法士は第90位、作業療法士は第6位にランキングされています。理学療法士の仕事、作業療法士の仕事、さまざまな診療科の医師の仕事がどうなっていくのか、再生医療の視点から、みなさんとともに論考できればと存じます。

田邊浩文

医療とチェロのコラボについて

田邊は素人チェリストです。出演者は国内最高峰のチェリストで、田邊が憧れるチェロの師匠です。特にスイス在住の林先生は、世界的に有名なトップチェリストですが、コロナ禍により芸術活動が全くなくなりました。昨年、そんなトップチェリストが4人集い、Cello4が結成され、文化庁の文化芸術復興事業として全国ツアーが行われました。疲弊した国民を癒し文化芸術の復興を目指す事業ですが、文化庁予算だけでは、企画運営・現地ステージ管理・財務会計・文化庁調整・運転手を雇うことができなくなりました。田邊は元防衛省管理職で様々な行政ポストを経験、簿記1級、財務諸表論資格、大型運転免許とCello4を支援するすべての素養をたまたま保有しており、総合マネージャーとして全国ツアーを完遂しました。その後、林先生が来日された時、田邊は居酒屋で林先生と2022ツアーの担当を約束しました。そのとき、「この世界一の演奏を、今、疲弊している我々医療従事者に聴かせてください」とお願いし、今回のコラボ開催を行うこととなりました。

Cello⁴



～林 峰男と仲間たち in 福岡～

2022年9月18日（日） 15時開演
令和健康科学大学メインホール

パッフェルベル
シューマン
ドビュッシー
バッハ
ブラームス
他

カノン
トロイメライ
月の光
無伴奏ヴァイオリンパルティータ第2番より『シャコンヌ』
ハンガリー舞曲第5番 他

全席指定
一般 4,000円
学生 1,000円

未就学児のお子様のご入場は
ご遠慮申し上げます



チケットの申し込み・お問い合わせ

Cello4事務局 rigaku111@yahoo.co.jp 080-1060-2321

主催 CELLO⁴コンサート実行委員会

林 峰男

幼少より才能教育にてチェロを学ぶ。桐朋学園において齋藤秀雄氏に師事その後、ジュネーブ音楽院を第1位で卒業。翌年、スイス・ローザンヌ室内管弦楽団のソリストとしてヨーロッパデビューを果たす。1975年ベオグラード国際チェロコンクール第1位。1976年ワシントンD.C.とニューヨークのカーネギーホールにてリサイタルを開催し、ニューヨーク・タイムズに絶賛される。1977年スペインで開催された「カザルス生誕百年記念コンサート」に招待される。1976年以降、スイスを本拠地としながら、ドイツ、フランス、オーストリア、スペイン、イタリア、ベルギー、チェコ、アメリカ、イギリスなど世界各国で活躍。日本へは毎年定期的に帰国し、リサイタルや在京オーケストラとの共演など幅広く活躍。現在に至る。この間、1985年にはバッハ生誕300年を記念して「無伴奏チェロ組曲全6曲」を一夜で演奏するコンサートで、全国17カ所日本縦断。栃木・大谷洞窟、京都・常寂光寺、東京・増上寺本堂でのリサイタルも話題を呼ぶ。1995年カザルスホールにて「デビュー20周年4日連続演奏会」を開催。現在は、ソロ、室内楽で活躍するとともに後進の指導にも力を注いでいる。



宮地晴彦



3歳よりチェロを始める。宇都宮短期大学附属高等学校音楽科、桐朋学園大学、桐朋学園大学ソリストディプロマを経て、ミュンヘン音楽大学大学院を修了。第13回栃木県学生音楽コンクール第1位、第1回コンセールマロニエ21入選、第68回日本音楽コンクール第3位。ヤンシュ・シュタルケル、バーナード・グリーンハウス、アルト・ノラス、アントニオ・メネセス、他多数のマスタークラスや、小沢征爾音楽塾、キジアーナアカデミー、ザルツブルグ夏期国際音楽アカデミー、ワールドチェロコンGRESS、他の世界各地の音楽祭に参加。これまでにチェロを林峰男、倉田澄子、ワルター・ノータス各氏に師事。アウグスブルグ市立歌劇場を経て、プフォルツハイム市立歌劇場にて首席チェロ奏者を務める。そのかわり、コンチェルトのソリスト、室内楽などでドイツを中心に活躍。11年を超えるドイツ生活を経て2013年に帰国、オーケストラの首席奏者などの客演、ソロや室内楽など、日本を拠点に活動している。

玉川 克

5歳より才能教育研究会にてチェロをはじめ。宇都宮短期大学附属高校音楽科を経て、桐朋学園大学カレッジディプロマコース修了。2005年よりリサイタルを開始。2011年にはバッハの無伴奏組曲全曲を取り上げる。室内楽奏者として非常に多くの演奏会に携わっており、2003年に結成した昂21弦楽四重奏団では、東京、山形、仙台、宇都宮、横浜でのコンサートを毎年開催。さらに、TKカルテット、スーパー・チェロ・アンサンブル・トウキョウのメンバーとしても定期的に演奏を行っている。近年新たに、出身地である栃木県において本格的な室内楽コンサートを届ける「玉川克の室内楽シリーズ」を主宰、毎年3回のコンサートを開催している。その他、客演首席奏者として国内の主要オーケストラから招聘されるほか、クラシック、ポップスなどジャンルを問わずレコーディングへの参加多数。
玉川 克 ホームページ <http://www.celloutama.com>



三森未来子



東京芸術大学附属音楽高等学校、同大学を経て、同大学院を修了。在学中、芸大管弦楽研究部と共演。ローザンヌ夏期音楽アカデミー、沖縄ムービー・ミュージックキャンプ、ロームミュージックファンデーション「スイス音楽セミナー」、ザルツブルク、リュウベック、草津などの夏期音楽アカデミー(D・ゲリンガス、M・オスターターク、W・ベッチャー、C・ヘンケルの各氏)にて研鑽を積む。これまでに、松波恵子、三木敬之、林 峰男、堀了介、秋津智承、鈴木秀美の各氏に師事。1988年シメヌ・ストリング・カルテットを結成し、第1回淡路島国際室内楽コンクールにて第1位。併せて兵庫県知事賞を受賞。以来、「東京の夏」音楽祭、NHK-FMをはじめ、カルテットのメンバーとして活躍。1992年より定期的にソロリサイタルを開催。現在に至る。2006年よりバッハ無伴奏リサイタルを始め、2010年浜離宮朝日ホールでの演奏も好評を博す。現在は、カチュオール・リアン、スーパー・チェロ・アンサンブル・オブ・トウキョウメンバー、東京音楽大学非常勤講師。